

研究テーマ	<p>児童生徒一人一人の資質・能力を育む授業作りの在り方 ～主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた指導・支援の工夫を通して～ (二年計画一年次)</p>
研究目標	<p>児童生徒の主体的・対話的で深い学びの姿について、石巻支援学校としての具体的な姿、捉えの共有を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導・支援の工夫を検討することを通して、児童生徒一人一人の資質・能力を育む授業作りの在り方を明らかにする。</p>
研究内容 方法 研究計画等	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びの具体的な姿、捉えの共有化を図る研修会、ワークショップ (一年次、二年次)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」についての捉えの共有化を図る研修会を行う。 ・ワークショップ型の検討会を実施し、単元題材のそれぞれの学習内容における 児童生徒の主体的・対話的で深い学びの具体的な姿について考察し、石巻支援学校としての具体的な姿、捉えの共有化を促進する。 <p>(2) 「主体的・対話的で深い学びの視点シート」の作成と活用 (一年次、二年次)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人一人の目標到達に迫る、主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた指導支援の工夫について検討し、主体的・対話的で深い学びの視点シートを作成する。 <p>(3) 児童生徒一人一人の資質・能力を育む授業作り、授業実践 (二年次)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた指導・支援の工夫等について、検討し、児童生徒一人一人の資質・能力を育む授業作り、授業実践を行う。 ・V T R 視聴による研究授業を行い、事後検討会において成果と課題について検討する。 <p>(4) 既存のツールや資料の共有化の促進と実用性の向上 (一年次、二年次)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで作成したツールや資料の共有化の促進と実用性の向上を図る。
研究の概要 ・研究成果等	<p>○成果</p> <p>三つ学びの姿についての研修会を実施した。三つの学びの姿の概要や捉え方、児童生徒のどのような姿が、それぞれの学びの姿と捉えるのか、主体的な学びの具体的な姿、対話的な学びの具体的な姿、深い学びの具体的な姿について、石巻支援学校としての三つの学びの具体的な姿、捉えの共有化につながる取組の一つとなった。</p> <p>主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた指導・支援の工夫についてのワークショップを行った。ピックアップした単元題材のそれぞれの学習内容において、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの具体的な姿を洗い出し、それを導き出すための手立ての工夫について、11月研修日資料「主体的・対話的で深い学びについて」を参考に、ワークショップ資料に沿って話し合い、検討することができた。一人一人の児童生徒のそれぞれの学習場面での主体的・対話的で深い学びの姿のイメージを共有することで、新たな気づきや様々な支援の工夫が見られた。</p> <p>●課題</p> <p>～子供の姿の見取りや引き出したい姿について～</p> <p>主体的・対話的で深い学びの具体的な姿、捉えの共有化に向けて、一人一人の児童生徒のそれぞれの学習場面での主体的・対話的で深い学びの姿を考察・検討するプロセスを継続するとともに、日々の授業作りに落とし込み、活用していけるようにすることが課題である。</p> <p>～引き出したい姿を引き出すための指導の工夫について～</p> <p>主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた指導・支援の工夫について、さらに検討・考察していくためには、児童生徒の目標到達に向けた主体的・対話的で深い学びの視点に基づく授業実践の充実が必要である。的確な実態把握に基づいた児童生徒一人一人の目標や指導内容の設定、個々の目標到達のために必要な主体的・対話的で深い学びの視点に基づく手立ての工夫に重点を置き、実践を積み重ねることが必要である。また、並行して、それらの授業作りの参考となる資料の作成や学習指導案(学習指導略案)の様式等の検討も進めていくことが課題である。</p> <p>児童生徒一人一人の目標に到達するためのより効果的な授業作りの充実のため、児童生徒の実態、単元題材の目標、個別目標等について教員間で共通理解を図り、「どのように学ぶか(主体的・対話的で深い学び)」の視点に沿った、指導・支援の工夫について検討を重ねていきたいと考える。そのために日々の実践において、指導グループや学級ごとに、児童生徒の小さな変容を見取り、共有し、支援をアップデートしていくプロセスをルーティン化して、学校全体の取り組みにつなげていきながら、研究主題に迫っていきたい。</p>